

<中心距離の比>

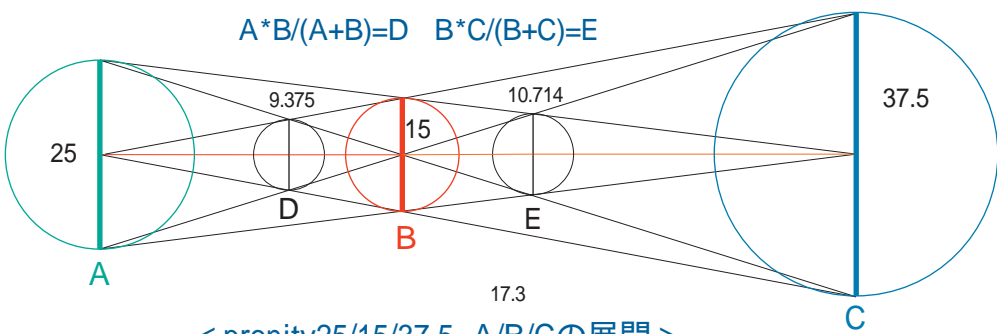
$a0.b0=X$
 $b0.c0=Y$
 $a0.c0=Z$
 $Y=X*C/A$
 $Z=X*C/B$
 $X=40$
 $Y=40*37.5/25=60$
 $Z=40*37.5/15=100$

<プロニティーと線分>

$pronity25/15/37.5=A/B/C$
 (C > A > B)

2つの数(A.B)と、2つの数の積を差で割った数(C)からなる3つの数を表す平行な3本の線分は端点と中心との相対的な焦点を持つ関係<プロニティー>にあり、3つの焦点はAB、AC、BC、の2体の距離の変化により相対的に動き、2体の中心が重なった時もう1体の中心も重なる。又、AB.BC.ACの組は、それぞれもう一つのプロニティー(A/D/B)(B/E/C)(F/A/C)をつくり、この関係は無限に循環を繰り返し、全てが相対的な焦点を持つ関係となる。

ABの端点を結ぶ線分はCの中心に交わり、BCの端点を結ぶ線分はAの中心に交わる。そしてACの端点を相互に結んだ交点はBの中心となる。



< A.B.Cの数値からD.E.Fを求める >

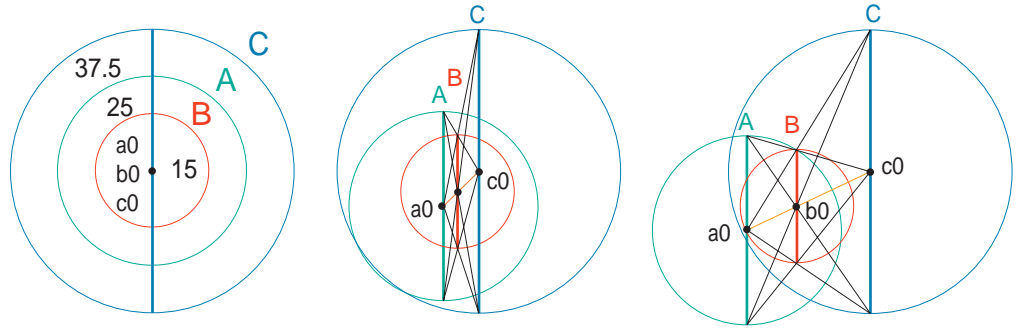
$AB/(A-B)=25*15/10=37.5(C)$
 $AB/(A+B)=25*15/40=9.375(D)$ < AB間の交点 >
 $AC/(C-A)=25*37.5/12.5=75(F)$ < ACの焦点 >
 $AC/(C+A)=25*37.5/62.5=15(B)$
 $BC/(C-B)=15*37.5/22.5=25(A)$
 $BC/(C+B)=15*37.5/52.5=10.71(E)$ < BC間の交点 >

<新たな3つのプロニティー>

$pronityB/D/A=15/9.375/25$
 $pronityB/E/C=15/10.71/37.5$
 $pronityC/A/F=37.5/25/75$

<円A.Bの中心距離とCの中心距離とのプロニティー関係>

平行な線分A.Bの相対的な距離と角度によって、線分Cも相対的に位置する



<pronity25/15/37.5=A/B/Cの展開>

< A.B.Cから現れる新たなプロニティーD.E.F >

.A.Bの積を和で割ると<D>が、B.Cの積を和で割ると<E>が現れ、A.Cの積を和で割るとBが、A.Cの積を差で割るとAをCとの中間子とする<F>が現れる。

